

郡山市イメージキャラクター
がくとくん

第44号

令和5年4月発行

郡山市

～農家の皆さんへ～

農政だより

SDGs 未来都市 こおりやま

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



祝

郡山市農業賞 受賞

濱津 洋一 様

郡山市農業奨励賞 受賞

川曲 集落 様

武藤 甲児 様

株式会社 きくた農園 様

有限会社 ニッケイファーム 様

(上段) 写真左から：(株)きくた農園
代表取締役 佐久間俊幸様・佐久間
力様、(有)ニッケイファーム代表取締役
大竹秀世様・志保様

(中段) 写真左から：川曲集落代表
降矢敏朗様・降矢武利様、武藤甲児
様・良典様

(下段) 写真左から：品川萬里市長、
濱津洋一様・千恵子様、塩田義智市
議会議長



令和5年1月11日(水)に、郡山市役所特別会議室において令和4年度郡山市農業賞・農業奨励賞表彰式が開催されました。

農業賞を受賞された濱津洋一様は、本市においてブランド野菜を創出するために発足された「郡山ブランド野菜協議会」の会長等を務め、郡山市農業委員会幹事会幹事長としても地域農業の活性化に尽力し、本市農業の振興と発展に貢献されております。

農業奨励賞を受賞された川曲集落(中山間地域等直接支払交付金事業)様は、地域の共同活動として景観保全等に取り組みながら、福島大学食農学類の学生との交流会を開催するなど、積極的に外部との交流を図り、地域の集落機能を強化するための取組を行っております。

同じく、農業奨励賞の武藤甲児様は、湖南町福良地区の地域農業を牽引し、早くからインターネットでの直接販売を始めるなど、販路拡大を実行しております。

同じく、農業奨励賞の株式会社きくた農園様は、農地中間管理事業等を活用し、地域の農地を守るため離農者の農地の集積を図っており、また、農業者育成のため、研修生の積極的な受入れを行っております。

同じく、農業奨励賞の有限会社ニッケイファーム様は、化学肥料を用いない栽培を行い、自社の直売所及びSNSを活用し、農業の魅力を積極的に発信しており、また、農商工連携を図り、6次化商品の開発・販売にも取り組まれております。

各受賞者は表彰後、取組事例発表としてこれまでの営農及び活動内容の紹介を行いました。

栽培講習会・見学会を開催します

園芸振興センター

957 - 2880

郡山市で振興しているきゅうり、トルコギキョウで就農を希望する方や販売を目的として栽培をする(栽培を検討している)生産農家向けの講習会を開催します！

～ 講義・実習を組み合わせた実践的な講習会です ～

きゅうり栽培講習会

- ・ 日 程 4月26日(水)、6月7日(水)、7月5日(水)、7月26日(水)、11月8日(水)【全5回】
- ・ 開催時間 午後1時30分～午後3時30分



◀きゅうりの栽培実習の様子

トルコギキョウ栽培講習会

- ・ 日 程 4月25日(火)、5月9日(火)、6月13日(火)、7月11日(火)、8月8日(火)【全5回】
- ・ 開催時間 午前10時～正午



◀トルコギキョウの栽培実習の様子

*栽培講習会へ参加希望の方は、4月21日(金)までに、園芸振興センターへ申し込みください。

見 学 会

- ・ 内 容 園芸振興センターの施設や栽培状況の見学等
- ・ 日 程 6月28日(水)
- ・ 開催時間 午前10時～午後3時

*見学会へ参加希望の方は、6月27日(火)までに、園芸振興センターへ申し込みください。



園芸振興センター
栽培講習会・見学会のお知らせ



こおりやま園芸カレッジ(新規就農研修)

園芸振興センター

957 - 2880

園芸作物(野菜・花)の栽培により就農をしようとする意欲ある農業者を育成するための1年間(4月～翌年3月)の研修制度です。

- 【対 象 者】 こおりやま広域圏で園芸作物により就農しようとする18歳以上60歳以下の方
- 【研修内容】 野菜、花の栽培技術習得のための実習、講義、市内先進農家視察 等
- 【受 講 料】 無料(傷害保険、教材費、被服類等は自己負担)



▲研修の様子

～ 新規就農者育成総合対策事業(就農準備資金)申請要件を満たした研修です ～

*令和5年度の募集は終了しております。詳しくはお問い合わせください。



農作業を支援する「アグリサポーター」を活用しませんか

園芸振興センターは、「アグリサポーター育成講座」を通じて園芸作物(野菜、花き及び果樹)の基礎的な作業技術を持つ人材を育成しております。「アグリサポーターこおりやま」では、この講座を修了した方が所属し各種農作業の支援を行っておりますので、必要な場合には是非ご連絡ください。

主な作業内容：野菜、花きの植付け、ナシ・ブドウの摘果・摘粒、袋かけ、収穫

【連絡先】 アグリサポーターこおりやま(古山) TEL・FAX 945-0244



▲ブドウの袋かけを実習するアグリサポーター育成講座の講者

水田関連事業のお知らせ

農業政策課

924 - 2201

「経営所得安定対策制度」を活用して、主食用米からの作付転換にご協力ください

米の消費量は、人口減少や食の多様化により毎年10万トンペースで減少することが予測されています。

米価は米の在庫量に左右され、在庫量が増加すると下落する恐れがあります。このため令和5年産についても、県・JA中央会・米の集荷業者団体等で構成する福島県水田農業産地づくり対策等推進会議では地域ごとに生産数量の目安を提示し、その目安を郡山市農業再生協議会も農業者の皆様に提示しました。今後もそれぞれの経営に応じて、大豆、飼料用米や高収益作物である野菜等への転換など、米の消費量の目安に基づく生産・販売をお願いします。

さらに、国の支援策「経営所得安定対策制度」の交付金を申請する方は、「水田営農計画書」及び「申請書等」を必ず定められた期限内に提出し、加入手続きを行ってください。

なお、国は需要に応じた米生産の基礎資料とするため、水稻作付面積を調査していますので、前年と同じ作付計画でも、毎年、水田営農計画書の提出をお願いします。



令和5年度 経営所得安定対策等の概要

1 収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）

- (1) 交付対象者：認定農業者、集落営農、認定新規就農者
- (2) 交付内容：米・麦・大豆の販売収入が標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を国からの交付金と農業者の積立金で補填します。

2 水田活用の直接支払交付金 ※対象作物等は農業政策課へお問い合わせください。

- (1) 交付対象者：水田で出荷・販売を目的に対象作物を生産（耕作）する販売農家・集落営農
- (2) 支援内容
 - ① 戦略作物助成：戦略作物の生産に対して交付します。
 - ② 産地交付金：戦略作物の生産性向上等の取り組みや地域振興作物の生産に対して交付します。

3 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策） ※原則、未検査、規格外品は交付対象外です。

- (1) 交付対象者：認定農業者、集落営農、認定新規就農者
- (2) 支援内容
 - ① 数量払：麦、大豆、そば、なたねの当年産の出荷・販売数量に対して交付します。
 - ② 面積払：①の内金として、当年産の生産面積に基づき交付します。



こおりやまパン用米【仮称】(インディカ系多収量米)の品種適性試験を行っています

農業政策課

924 - 2201

東北地方では、気温が低いためインディカ系多収量米品種は導入されてきませんでした。

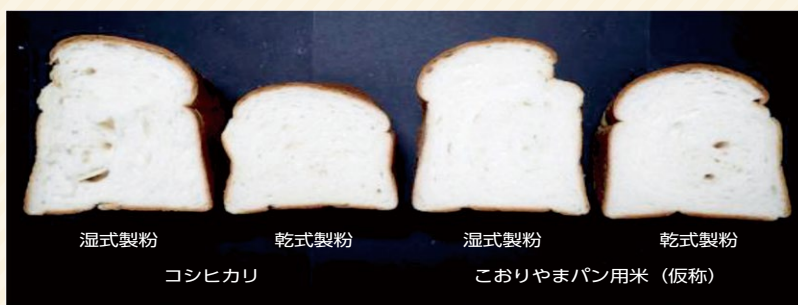
しかし、地球温暖化の影響で、各地域の適応品種に変化が起きており、今後東北地方でもインディカ系の多収量米栽培が広がる可能性があります。

このような状況を踏まえ、本市では、平成28年度から東京大学大学院農学生命科学研究科 根本圭介教授指導のもと、インディカ系多収量米の品種適性試験を行っております。また、米粉からパンやパスタを作ることができるため、現状大部分を輸入に頼っている小麦粉の需要を米粉に置き換えることができれば、コメの需要も拡大できます。

令和4年度はパンの製造に向いている品種を選抜し、栽培を行いました。その栽培実績は反収9.9俵となり、まずまずの結果となりました。

今後は、こおりやまパン用米【仮称】の米粉を広く知っていただくため、市内の希望するパン屋さんに試験的な製パン、及び試験販売をしていただきます。

また、給食の米粉パンに使用していただくための検討を行っています。



農産加工研修の受講者募集

園芸畜産振興課

924 - 3761

- ・会 場 郡山市農産加工センター(郡山市逢瀬町多田野字南原17)
- ・対 象 全4回(8・9・11・1月予定)の講義を全て受講し、指導者認定会に参加できる方
- ・定 員 10名(定員になり次第締め切り)
- ・内 容 郡山市農産加工センターの機械操作及び基礎的な加工技術の習得
- ・受 講 料 無料(材料費は自己負担となります)
- ・申込方法 4月3日(月)から5月19日(金)までに、住所、氏名、電話番号を記入し、郵送又はFAXにてお申込みください。

〈あて先〉〒963-8601 郡山市農林部園芸畜産振興課 FAX938-3150



▲研修の様子



「人・農地プラン」から「地域計画」へ

農業政策課

924 - 2201

これまで、地域での話し合いにより「人・農地プラン」を作成してきましたが、農業経営基盤強化促進法等の改正(令和4年5月20日成立)により「人・農地プラン」が法定化され、令和5年4月からは「地域計画」へと代わります。そのため、令和7年3月末までに市内の市街化区域を除く全農地で「地域計画」を作成する必要があるため、本市では今までの集落単位ではなく、基本的には行政センター管内(全体)を単位とする区域ごとの作成を想定しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。





中山間地域等直接支払制度対象 地域の拡大について

農業政策課

924 - 2201

中山間地域等直接支払制度の第5期対策(令和2年度～令和6年度)において、第4期対策に比べて対象地域が拡大しています。お住まいの地域が該当するか知りたい、制度の概要や交付要件を教えてくださいなどありましたらお気軽に農業政策課までお問合せください。

【対象地域(表記は昭和25年2月1日時点の旧市町村、順不同)】

岩江村、高瀬村、中妻村、三和村、穂積村、河内村、多田野村、片平村、喜久田村、日和田町、小泉村、月形村、中野村、三代村、福良村、赤津村、熱海町、丸守村、逢隈村、高野村、宮城村、御館村、守山町、谷田川村、二瀬村

※赤字は新たに組みができるようになった地域(対象が一部から全部になった地域を含む)

【主な交付要件】

- 取組面積の合計が1ha以上あること
- 農用地の団地の傾斜が田で1/100以上、畑・草地で8度以上あること
- 協定に基づいて5年間以上農業生産活動を継続して行うこと(耕作者本人の死亡、高齢、病気等により継続が困難な場合はこの限りではありません)。



農地中間管理事業の活用について

農業政策課

924 - 2201

農地中間管理事業は、農地バンク(農地中間管理機構)が農地を貸したい人から一旦借り受け、規模拡大したい担い手に転貸する制度です。

毎年の賃借料の支払い手続きは農地中間管理機構が行い、公的機関ですので安心です。農地を借受けた担い手は原則10年間の貸借のため安定した営農が可能となります。

農地を貸したい、農地を借りたい方はご相談ください。



多面的機能支払交付金を活用して、 農地等の保全にご協力ください

農 地 課

924 - 3921

農地法面の草刈り、水路の泥上げ、施設(水路・農道等)の軽微な補修や環境保全のための共同活動(植栽等)を支援する「多面的機能支払交付金」があります。

地域で組織を設立し、事業計画を作成後、補助金を交付します。補助金は、作業参加者への日当の支払いなどに使うことができます。



◀農家等の保全活動の様子



山火事防止のため火の取り扱いに 注意してください

林業振興課

924 - 2231

春先は空気が乾燥し、山火事が起きやすくなります。たき火やたばこ等、人の不注意によって起きています。貴重な森林を山火事から守るため、火の取り扱いに十分注意してください。





農作業上における注意点について

園芸畜産振興課

924 - 3761

①野焼きは原則禁止です。

農業を営む方が行う稲わら等の焼却などは禁止の例外となっていますが、周辺住民の健康や生活環境に与える影響が認められる場合は中止の指導をすることがあります。

農村部でも住宅地は増えています、近隣住民の方への配慮をお願いします。

稲わらは焼却せず、すき込みや堆肥化などで有効活用願います。

②春と秋の農繁期に農作業事故が多く発生する傾向がありますので、春の農繁期を迎える前に作業を確認し、農作業事故ゼロを目指しましょう。

③トラクター・田植機での農作業後、水田や畑から公道に出る際には、機械についた泥などを落としてから走行し、通行の妨げや泥によるスリップ事故を未然に防ぎましょう。

④農薬は、ラベルで必ず作物名・使用方法を確認して適正に使用し、風の無い日に散布することでドリフトを防止しましょう。



遅霜による凍霜害の注意点について

園芸畜産振興課

924 - 3761

春先の遅霜の発生により、農作物への被害が懸念されるため、凍霜害への対策を万全に期し、被害を未然に防ぎましょう。

<気象条件・霜注意報・ほ場温度観測で総合判断しましょう>

- ①気象条件：風が無く空気が乾燥し、午後10時までに気温5℃以下は要注意
- ②霜注意報：インターネットやラジオ等で気象情報の詳細確認
- ③ほ場温度：正しい温度計での観測（日の出前が最も気温低下）

<防霜対策をしましょう>

- ①被覆・保温資材の活用で、気温・地温の確保
- ②種まき、植え付け、収穫時期の調整で被害回避
- ③燃焼資材（市販の固形燃料等）の有効活用（果樹）



卸売市場 イベント情報

卸売市場管理事務所

961 - 1140

郡山市総合地方卸売市場では、市民の皆さんに卸売市場の役割や仕組みについて理解を深めていただくとともに、市場の活性化と生産食料品等の消費拡大を図るため、様々なイベントを開催しています。

卸売市場紹介動画▶



●夏休み市場たんけん隊

小学生と保護者が卸売市場の仕組みや役割を体験学習（夏休み期間に開催予定）

●市場料理教室

市場で取り扱う食材等を使用した料理教室（9月～10月開催予定）

●フラワーアレンジメント教室

市場で取扱う花き等を使用した教室（11月～12月開催予定）

●ドライブスルー市場

新鮮な魚介類等を車に乗ったまま購入（土曜日開催予定）



まちづくりハーモニー賞受賞者紹介

農業政策課

924 - 2201

「農事組合法人布引高原野菜生産組合」「郡山ふるさと田舎体験協議会」

魅力と活力あるまちづくりに先導的・先進的な役割を果たしている方を顕賞する「まちづくりハーモニー賞市民活動実践部門」に2団体が受賞しました。

農事組合法人布引高原野菜生産組合は湖南町の布引高原で野菜生産のほかに、平成19年に始まった「風の高原フラワープロジェクト」のヒマワリ・コスモスの栽培管理を担っており、布引高原は郡山市を代表する美しい景観地として定着しています。

郡山ふるさと田舎体験協議会は平成22年から逢瀬町・湖南町を中心として「田舎」ならではの安全・安心な農業体験や自然とのふれあい、農家民宿などグリーン・ツーリズム事業を行っています。



▲布引高原野菜生産組合の増子さん（左）、小山組合長（右）



▲郡山ふるさと田舎体験協議会の勝又会長（左）、佐藤副会長（右）



サイエンススクールNOKOを開催しました！

農業政策課

924 - 2201

東京農工大学の教授・学生ボランティアを講師として迎え、科学の実験に興味のある小学校高学年、中学生、高校生を対象に、身近にある野菜や花、魚等の食材を用いた科学の楽しさを学ぶ授業を実施しました。

東京農工大学との連携事業の一環として毎年実施していたサイエンススクールは、コロナ禍の影響により中止が続いていましたが、今年は3年ぶりに開催することができました。

今年から、小学生の部に加え、中学生、及び高校生の部を新たに開設し実験の楽しさを多くの児童、及び生徒に伝えました。高校生の授業ではイカの解剖を行い、生徒の皆さんは先生の説明を聞きながら、ハサミなどを使い真剣に解剖を行っていました。

さらに、サイエンススクールの活動が子どもたちの科学への興味や理解を深め、地域との交流も生まれ、地域活性化にも貢献していることが認められ、魅力と活力あるまちづくりに先導的・先進的な役割を果たしている方を顕賞する「まちづくりハーモニー賞青少年部門」を東京農工大学農学部附属硬蛋白質利用研究施設が受賞しました。



サイエンススクール 野村教授（前列中央）▶
参加した小学生とボランティア学生講師



農地の基盤整備を進め効率的な生産を

農地課

924 - 3921

基盤整備事業では、ほ場の大区画化、農業用排水路や農道等の整備により、効率的で生産性の高いほ場を整備し、農業生産性の向上や水田の汎用化を図りながら、農業担い手への集積・集約を推進します。

事業実施に際して必要な採択条件(地域の合意形成、担い手への集積・集約、高収益作物の導入など)や地元の費用負担割合については、農地課へお問い合わせください。

〈イメージ写真：郡山市喜久田町堀之内地区〉



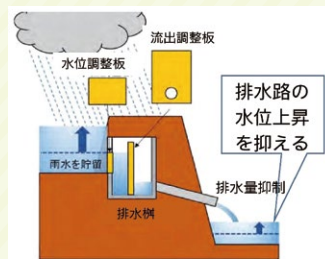
「田んぼダム」への取組について

農地課

924 - 3921

「田んぼダム」とは、水田の落水口に流出量を抑制するための流出調整板などの器具を設置することで、水田からの排水量を抑制し、取組実施地域やその下流域の湛水被害リスクを低減する取組です。取組への支援制度については、農地課へお問い合わせください。

「田んぼダム」を実施している水田の排水イメージ▶



堆肥マップをご活用ください

園芸畜産振興課

924 - 3761

畜産農家と連携して良質な堆肥を提供するため、「郡山市堆肥マップ」を作成しました。良質な堆肥は、作物に養分を供給するだけでなく、地力の向上に効果がありますので、ぜひご活用ください。



農福連携を推進しています

園芸畜産振興課

924 - 3761

農福連携とは？

農業従事者の高齢化など、働き手の確保に課題を抱える農業分野と、障がい者の働く先の不足や賃金の低さに課題を抱える福祉分野が連携して、障がい者の農業分野への就労を促進する取り組みです。

農福連携を始めたいとお考えの農業者の方

郡山市農林部園芸畜産振興課までご相談ください。

担当者から地元農福連携コーディネーターに仲介し、農業者と障がい福祉事業者間のマッチングや作業時期などを調整します。

◆農業政策課／☎924-2201 ◆農地課／☎924-3921 ◆園芸畜産振興課／☎924-3761 ◆林業振興課／☎924-2231
◆総合地方卸売市場管理事務所（大槻町向原）／☎961-1140 ◆園芸振興センター（逢瀬町多田野）／☎957-2880

郡山市農政だより 第44号(令和5年4月発行)

編集発行：郡山市農林部農業政策課 〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7
E-mail:nougouseisaku@city.koriyama.lg.jp

紙へリサイクル可
この紙はFSC®認証紙です。

